

大宮区自治連だより

第26号
平成29年9月

リーダー視察研修会《平成29年9月5日～6日 柳津西山地熱発電所ほか(福島県)》

地熱発電は火山地帯の地下数キロメートルのところにあるマグマ溜りの熱で作られた蒸気を、ボーリングによって地上に取り出し、その蒸気の圧力でタービンを回し発電するものです。火力発電では石炭・石油・LNGなどの燃焼による熱で蒸気を発生させるのに対し、地熱発電では地下がボイラーの役割を果たしているといえます。



柳津西山地熱発電所では、地中のマグマで高温になった約200℃～350℃の熱水を井戸からくみ出し、その熱水から取り出した蒸気でタービンを回して発電します。タービンを回し終わった蒸気は冷やされて別の井戸から地下深くに戻します。

視察では、発電所並びに併設するPR館をスタッフの案内のもと見学しました。また、全体の視察を通じて、各自治会相互の情報交換・交流を図りました。

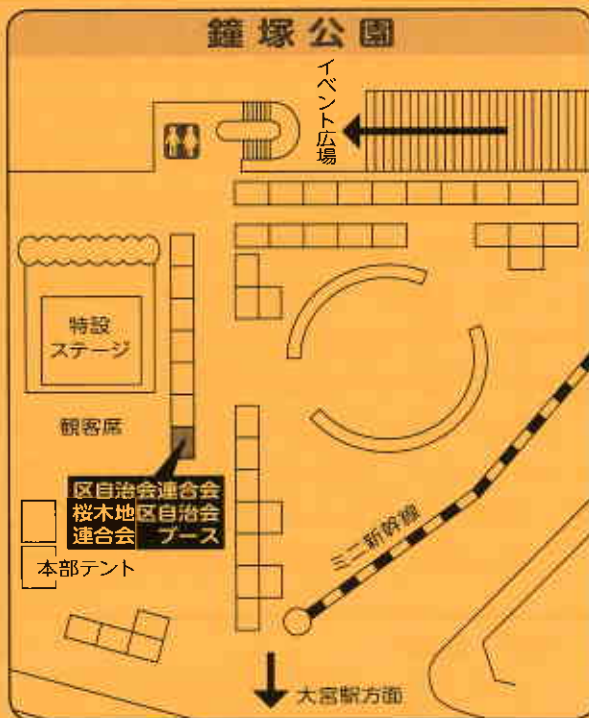
2017 大宮区民ふれあいフェアに区自治会連合会が出展します

区自治会連合会の正副会長が実行委員として参加している大宮区民ふれあいフェアが、大宮駅西口鐘塚公園周辺において開催されます。大宮区民ふれあいフェアは、各種展示やステージ発表、子どもふれあいコーナーなどが設けられ、幅広い世代が楽しめる催しとなっています。ふれあいフェアの詳細は、市報さいたま10月号と同時配布のチラシをご確認ください。

鐘塚公園の区自治会連合会・桜木地区自治会連合会ブースでは、区自治会連合会が自治会加入促進などを行い、桜木地区自治会連合会がカフェを出展します。カフェでは、カレーライスや小川屋菓子店の田舎饅頭をコーヒーとセットで販売します。また、桜木町出身の画家秋山静子さんの鐘塚公園ができる前の桜木町近辺を描いた風景画の展示などを予定しています。ぜひ、お越しください。

【2017 大宮区民ふれあいフェア】

開催日時／10月28日(土)10時～15時 (ソニックシティ会場)



活動紹介／中部地区自治会連合会

◆「運命の10年」 大門町2丁目中地区再開発スタート◆

「運命の10年」ここ10数年で大宮は大きく変わると思われます。(清水市長)

その先駆けとしていよいよ「大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種再開発事業」(組合施行)がスタートしました。

平成16年に対象地区権利者全員による「まちづくり懇談会」がスタートし、諸々の課題をクリア平成29年7月から工事が始まりました。完成は平成33年度を予定しており、完成後は大宮駅東口の新たなランドマークとして街の発展に寄与できると期待しています。

この地区のまちづくり経緯は都市再生特別措置法(平成14年)の施行によるところが大きいと思われます。

この事業は「機能融合による価値の創出歴史の継承と未来へ継続、東口の顔づくり、地域の活性化、質を高める、機能更新と充実、人と緑のネットワーク創出、地域の拠点整備 新しい都市環境の創造」を合い言葉で設計されています。この大宮駅周辺は終戦後40年で非常に栄えここ30年は横ばいが続いております、社会の変化により物品販売が難しく、大手チェーン飲食が圧倒するようになりました。人口減少が進んでおり外からの流入、若者が外に出て行かない魅力あるまちづくりがのぞまれる所であります。そしてまたこの再開発において、なぜ岩槻新道まで広げられなかったかと言う声も聞かれます。大宮の再開発において転出する地権者に手厚くそしてまた再開発ビルに入る地権者が以前同様の収益のある再開発ビル運営が望まれます。大宮の中心市街地は国の都市再生緊急整備指定地区に指定されました。東西は参道から旧17号、南北は西大通り線から旧16号までとなっております。大門2丁目中地区の再開発、緊急整備指定地区、グランドセントラルステーション構想による1丁目の再開発、大宮区役所跡地と大宮小学校等。これから10数年、大宮駅東口は大きく変貌する時期となりました。

活動紹介／東部地区自治会連合会

◆寿能町一丁目町会の紹介◆

当町会は東武野田線大宮公園駅の南側、南を大宮公園、東を産業道路で囲まれた地域です。大宮公園や盆栽村への入口に当たり、駅前地区の一部を除いて風致地区に指定されており、緑が多い住宅地です。当町会の発足は昭和29年(1954年)で、一昨年、平成27年に『60周年記念誌』を発行し、これまでの地域の変遷や町会活動を振り返ったところです。

平成に入ってから人口の高齢化が著しく、子供を対象にした行事はほとんど出来なくなってしまいました。さいたま市誕生以降は、大規模敷地等の開発による戸建住宅の立地が盛んになり、子供の数も回復してきました。現在の世帯総数は700近くですが、近年はワンルームマンションの立地も多く、町会への参加世帯の割合は、40%余りにとどまっています。

子供の数の回復を受けて、平成24年から夏祭り子どもみこしを復活させました。ささやかな子供対象のお祭りですが、最も重要なイベントとして町内あげて取り組んでいます。一方、高齢者を対象にした行事としては、「寿能一丁目寿サロン」を年4回開催しています。65歳以上の方が自由に参加、お茶を飲みながらおしゃべりをする会です。そのたびごとにいろいろな企画を考え、和気あいあいとした雰囲気の中で、お年寄りの見守りや情報交換が来ています。

当町会の悩みは集会所がないことです。以前あった集会所は、10年ほど前に地主の都合で取り壊しになってしまいました。会員からも集会所建設を求める声が強くなり、現在適切な用地の確保に向けて、さいたま市等と協議を行っています。また、町会の運営における世代交代も大きな課題です。近年では、各行事において若い子育て世代の参加が盛んになりつつあり、心強く感じています。